

平成 27 年 4 月 27 日

関係者各位

“Innovation Day Japan”の開催について

米国の製薬企業である Eli Lilly 社（以下、Lilly 社）では、癌、糖尿病、Alzheimer 病、自己免疫疾患、疼痛領域における新薬の新規ターゲットに関し、名古屋大学、並びに中部先端医療開発円環コンソーシアムに所属する機関の研究者と Lilly 社とのマッチングを目的として、“Innovation Day Japan”を開催します。

この度、名古屋大学医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センターは Lilly 社の依頼を受け、“Innovation Day Japan”の開催に向けて、候補シーズの選定に、協力することとなりました。先生方のご研究の発展や、候補物質の上市に向けた開発という意味では、大きく前進する機会となる可能性を秘めるものであり、積極的にご参加を検討していただけますと幸いです。

1. “Innovation Day Japan”とは

研究者と Lilly 社とのマッチングを目的として開催されます。“Innovation Day Japan”の開催日には、Lilly 米国本社の研究所トップである Jan Lundberg 博士、並びに各領域のトップ研究者数名が来日し、参加研究者のプレゼンテーションを聞いて、Lilly 社側から興味の意思表示がされた場合には、当該研究について Lilly 社との共同研究契約／ファウンディング／ライセンス契約に向けた交渉が開始されることとなります。これは Lilly 社として日本で初めての試みで、2015 年 9 月上旬の開催を予定しています。

2. “Innovation Day Japan”の開催までのステップ及び応募方法について

“Innovation Day Japan”の開催までのステップは、添付資料のとおりですが、まずは、下記要領にて応募をしていただく必要がございます。

【応募方法】

下記①及び②（③は必須要件ではありません）に該当する研究テーマについて、開示可能な情報のみで（Non-confidential ベースで）、3～10 枚程度の資料を英語で作成し、5 月 11 日（月）16 時までに、下記の提出先まで、PPT データで提出してください（化合物特定情報等公開できない情報は非開示で構いません）。

研究テーマ

- ① 癌、糖尿病、Alzheimer 病、自己免疫疾患、疼痛の治療領域
 - i 癌については、Immuno-Oncology、又は、胃がん・胆のうがん・肝臓がんなどアジア特有の疾患をターゲットとしているもの
 - ii 糖尿病については、膵臓 β 細胞再生（アポトーシス抑制）、新規投与形態（例：経鼻）、血糖降下だけでなく血圧や脂質に影響を与えるアプローチのもの
 - iii Alzheimer 病については、p-tau など新規ターゲットを幅広く含むもの
 - iv 自己免疫疾患は、特にリウマチ、乾癬、全身性エリトマトーデスを対象とし、バイオリジクス類似のターゲット、T 細胞や B 細胞に作用するもの、あるいは別のアプローチとしてエピジェネティックなターゲット、マイクロバイオーム等をターゲットとするもの
 - v 疼痛については、特に神経因性疼痛に対するアプローチ、Lilly 社開発中の CGRP や Tanezumab（NGF に対する抗体）を視野に入れた新しいニューロペプチドや栄養因子（trophic factor）等をターゲットとするもの
- ② 新規ターゲットに関する研究である
- ③ バリデートされたモデル系を保有しており、何らかのヒット若しくはリードがあればなお望ましい

提出先・問合せ先

名古屋大学医学部附属病院 先端医療・臨床研究支援センター

担当者：青島 愛（豊永 亜希子）

TEL：052-744-2942、FAX：052-744-1303

e-mail：megumiaoshima@med.nagoya-u.ac.jp（a.toyonaga@med.nagoya-u.ac.jp）

※ 今後のスケジュール

- 5月11日（月）：応募資料（開示可能な情報のみで（Non-confidential ベースで）、3～10枚程度の資料（PPT データ）を**英語**で作成）を先端医療・臨床研究支援センターに提出
- 5月12日（火）：応募資料を先端医療・臨床研究支援センターから Lilly 社に提出
- 5～6月頃：Lilly 社内での評価後、評価結果を先端医療・臨床研究支援センターに連絡
- 7～8月頃：研究者、名古屋大学及び Lilly 社間で秘密保持契約後、“Innovation Day Japan”への招待状を送付
- 9月上旬：“Innovation Day Japan”開催（研究者による10～20枚のPPT スライドによるプレゼンテーション）

Eli Lilly 社について

同社は、1876年設立の数少ないM&Aを経験していないグローバル大手製薬企業で、新規薬剤の開発に非常に注力しています。同社は、インスリンの製剤化にカナダのトロント大学との共同で、世界で初めて成功し（1922年）、がん分野ではブロックバスター薬剤となった代謝拮抗剤のアリムタをプリンストン大学のテイラー教授から権利許諾を受け上市に成功した経験などがあります。また、アルツハイマー病研究を25年以上実施しており、近時、後期臨床開発品としてSolanezumab（アミロイドβに対する抗体）を保有しています。

名古屋大学医学部附属病院

先端医療・臨床研究支援センター

センター長 石黒 直樹